

ずばり！ 今年のキャッチ コピーは？	キャッチコピーに込めた想い
還暦祭	<ul style="list-style-type: none"> ・「大四日市まつり」の記念すべき60回の節目を祝い、再始動した昨年以上に盛り上げたいという想いです。 ・60で還暦を祝うのと同時に 赤ちゃんに戻りまた新たな四日市の 誕生を祝うお祭りをコロナも明けて 盛大に盛り上げて欲しいです★ ・60周年と言うことで、還暦で、おめでたいお祭りなので。 ・六十年目でこれからさらなる発展の年 だから ・60回目という事で、人間的には還暦にあたるため。今後も未永くこの文化が続きますように。 ・六十年という還暦だから。私(四日市出身ではありませんが四日市の高校に通っていました)も今年60歳で親しみを感じます。 ・記念すべき第60回を称し、また文字通り暦もどき気持ちも新たに四日市を盛り上げる祭りにと、決意と期待を込めて。
新時代	・コロナ禍の中から脱却し、ウイズコロナの新しい時代を四日市市民が一丸となり乗り越え、更なる飛躍が出来るような思いを込めて。
祝還暦	・60年、人間でいえば還暦！やっぱりめでたいし、これからも元気に続けたいです。コロナで規制もあったから、祝いましょう！
躍動	・躍動とはおどろくこと。力にあふれていきいきと活動すること。コロナ禍で出来なかったことが出来る、会えなかった人に会える2023年の最高の思い出になるお祭りになってほしいという気持ちを込めました。
六十祭	・60歳、60回とかけました！
解放	・ようやくコロナ禍も一区切りして、行事や生活様式、マスクなど多くのことから気持ちも体も解放された気持ちを込めた
再起動	・新型コロナ禍でなかなか足並みを揃えて開催出来なかったまつり。ゲームをリセットするように、今年こそ市民、団体全てが立ち上がり動き出そうと言う気持ちを込めて。
再燃	・コロナ禍を抜けてのお祭り、再び熱い気持ちを！！の願いをこめました。
笑顔	・マスクで顔全体が見えなかったけど マスクも外れ皆の楽しむ笑顔が見たいです。
前進	・新型コロナウィル流行により2020年からイベントなどの多くの行事が自粛され、少し落ち着いたかと思えば第○波と更なる流行…世の中が一喜一憂し、どうなってしまうのか不安でした。そして3年が経ち、まだコロナウィルスは無くなってはいませんが3年前に比べると緩和され、第60回という節目の年に、世の中がいい方向へ一歩ならず何歩も前進していると思ったので"前進"を選びました！
大四祭	・ただの祭りではなく、大四日市まつりです。みんなで四日市まつりを大きく盛り上げたいという想いで「大四祭」にしました。
大復活	・コロナ禍からの久々の復活で、大盛り上がりを期待しています！！
飛翔	・明るい未来に向かってみんなで羽ばたきたい(楽しみたい)という意味を込めました
復活	・フッカアーツとルビをふってほしい。 待ってましたの意味をこめて。
未来	・今年第一子を出産しました。幼稚園のころから毎年地元四日市の大四日市まつりが大好きです。去年は開催されてとても嬉しかったのです！去年はコロナ禍を気にしてあまり楽しめなかったのですが今年は今からとても楽しみにしております。 コロナ禍で外に出る機会が大きく減ってしまっていた子供達や私たち大人の未来が明るく、平和でありますように。これから先の未来、大四日市まつりがながくながく愛され続けますようにお願いシンプルですが 未来にしました。
愛繋	・コロナも5類となり、少しずつ以前の日常を取り戻しつつあります。この世の中、人間関係も希薄となり、孤独を感じたり新しい出逢いも少なくなっているのではないかと思います。今もう一度、人と人しっかりと向き合い、愛で繋がりを取り戻したいと願いました。大人も子どもも笑顔溢れるそんなお祭りになればいいなあと思います。
威風	・威風の意味は威厳、威勢のあること。四日市まつりは、昔からある伝統とお祭り独特の活気の良さとお祭り前から始まるワクワク感がある行事です。その存在感と意義を感じる威勢のいいお祭りになることを期待しています！
一心	・コロナ禍で開催した2022年は再始動だったため、今年は60回記念ということでもあるので心を1つにして60回目を迎える四日市まつりを盛り上げて行きたいため。

ずばり！ 今年のキャッチ コピーは？	キャッチコピーに込めた想い
一歩前	・コロナの後で四日市まつりの再開に嬉しさを。保護犬を今年3月に津市から四日市に来て飼いはじめました。四日市まつりに初参加します。だから一歩前にしました
焰万丈	・四日市がこれからも同様に勢いよく燃える四日市焰が長く勢い続く様に願い 活性溢れる街になるように。
夏響	・夏空に響く太鼓の音や、コロナ明けの愉しそうな笑い声が久し振りに共鳴して、夏祭りらしい賑わいを音で感じたい
夏告演	・夏を告げる演舞たち 大四日市まつりは夏本番を感じられるから
夏全開	・60周年を記念に、持てる能力を最大限に発揮し、祭りを成功させる。
夏猛烈	・暑い夏を吹っ飛ばす勢いが強く激しいさま、踊りも山車も四日市市民の郷土愛に対する情熱を暑い夏に思いきりぶつける姿勢を猛烈にアピールする。
夏爛漫	・夏爛漫は造語です。春爛漫が正しいですが、夏のお祭りなので組み合わせってみました。「らんまん」というドラマも放送中で耳になじみやすく思います。私は昨年高知市から孫の世話のために娘のところに居候しています。高知市の祭りは、よさこいで最近は大音響に閉口しています。四日市の祭りはもう少しおとなしく感じます。私は股関節が悪くて手術していますので、歩くのが苦手で、祭りに行くのを躊躇しています。でも、今年はなんとか体調調整して行ってみたいと思います。
華寿祭	・60年は還暦を想像します。還暦のことを「華寿」ともいい、華やかなお祭りの60年祝いの想いを込めました。
覚醒	・コロナ禍が開け、大入道も市民も皆がようやく目を覚ますから。
楽祭	・コロナ感染症を乗り越え、観客も演者も奏者も楽しい祭りになりたいから。
楽笑祭	・四日市祭、思いっきり楽しんで、みんなで笑い合える、そんな祭りになりたいです。
活祭	・活気に溢れた大四日市祭第60回を盛り上げようぜ!!
感歴	・大四日市まつりも60回で、還暦を迎えます。これまでの「歴史」の中で市民のみんなの数々の「感動」があったと思います。それら「還暦」と「感動」「歴史」をもじって「感歴」としました。
歓喜祭	・コロナによる制限などが撤廃されて歓喜に沸くと言う意味で
歓麗輝	・今年は60回目の記念の年。大四日市まつりも還暦です。(厳密には干支(十干十二支)が戻って「還暦」ですが一般的には「60＝還暦」と認識されているのではないかと思います)「歓びあふれ」「麗しく躍動し」「みんなが輝く」そんな「まつり」をイメージしました。(アクセントは四日市アクセントの「還暦」ではなく「感激」で) コロナ禍が明けて、見る人・演じる人・支える人すべてが、歓・麗・輝する「まつり」になってほしいと願っています。
還四也	・60年目で人と言う還暦という節目。還四也をかんしゃ(感謝)と読み、大四日市まつりが四日市市民みんなで60回まで繋げたんだということ、みんながみんなに、また先祖に感謝しながら祝いたいという思いを込めました。
還動	・苦節を超え再び「動」き出す大四日市まつり。その節目に60回と言う記念の節目(「還」)が重なりました。太鼓の鼓「動」に人が集まって「還」(わ)になって踊り感動を分かち合える。そんな大四日市まつりになってほしいという願いを「還動」という言葉に込めました。
還暦	・60回ということで、大四日市まつりの60歳を記念しました！
喜楽	・コロナウイルス感染症が2類から5類に変更となり、自粛要請などがなくなったことで、再び街は活気を取り戻しつつある。第60回大四日市まつりの賑やかな風景や街並み、そして、人々の「喜び」と「楽しみ」が、更なる四日市の活気に繋げ、沢山の笑顔を届ける街となってほしい。
嬉笑	・【きしょう】 久しぶりの四日市まつり、みんな開催が嬉しいという思いとマスクも外れてみんなが笑顔で笑ってほしいので
記念祭	・60周年という節目の年、記念すべき祭りである事を周知させ、期待感を持たせる
輝力	・以前四日市まつりでよさこいを見学していたときに輝き溢れるものすごいパワーを感じ、宇宙からもこの光り輝くエネルギーが観えるんじゃないかと思った程です。とても大きな力をいただき感動しました。コロナで長く観られませんでしたか、今年は以前と変わらず、それ以上の光り輝く大四日市まつりになることを願い「輝力」としました。

ずばり！ 今年のキャッチ コピーは？	キャッチコピーに込めた想い
久遠	・長年行われてきた四日市祭りが『この先もずっと続きますように』と願いを込めて。
巨祭	・日本一 巨大なカラクリ人形 大入道が登場し、ユニークな顔を見せてくれるから。
郷縁	・故郷の「郷」と御縁の「縁」を使って「きょうえん」というキャッチコピーです。故郷への想いを感じる日であり、様々な御縁を繋ぐ場所こそ大四日市まつりであると感じてこのキャッチコピーを考えました。また「きょうえん」という言葉に皆で踊りや太鼓を楽しむ「共演」「競演」や盛大なお祭りとしての「饗宴」をかけています。コロナ禍で離れ離れになった想いや御縁を改めて繋ぐ場所としての大四日市まつりを期待しています。
響感	・コロナからの脱却で、いよいよ四日市の街が祭りで響き渡り、それを肌で感じることができる。その楽しさや喜びを、祭りで共感し、皆で盛り上げましょう。という意味が込められています。
響動	・響動（きょうどう） 1. 共鳴の輪：「響動」は音や感情が響き合い、広がる様子を表現しています。人々が一体となって楽しみ、感動し、喜びの輪が広がることをイメージしています。 2. 活気とエネルギー：パワフルで活気にあふれたイメージ。音楽、ダンス、屋台、イベントなど、エネルギーで賑やかな雰囲気が満ちていることを想像しました。 3. 文化と伝統の響き：「響動」は伝統的な文化や祭りの響きをしています。 4. 地域の一体感：「響動」は人々が一つの目標や感情で結びつき、共鳴し合う協働の様子を表現しています。地域の人々が一丸となってまつりを盛り上げ、地域の結束と一体感を感じることをイメージしています。 5. 人々の心に響く：「響動」は音や感情が深く心に響くことを表現しています。コロナ禍による停滞から動き出し、訪れる人々の心に楽しさや感動が響き渡り、特別な思い出となることを願っています。以上。
結集	・①みんなで集まって、楽しみたい？
鼓舞	・コロナからの完全な脱却を感じ、太鼓の音を感じ舞うようす。周りの人を奮い立たせ、また自らも舞い、未来に向け鼓動が響く様子を表している。
光彩	・「こうさい」です。意味はきらきらと輝く様。今までの日常が戻ってきた今、だんだんとマスクを外し、人々の笑顔がきらきらと輝く眩しい大四日市まつりになるように。大入道や、さまざまな山車たちが夏の日差しを受けてきらきらと輝く様子を光彩という言葉に込めました。
光想明	・光る未来想いは一つ このご時世だからこそ明るい未来が待っていると信じて
甲華	・第60回と言う事で還暦。還暦を甲華(こうか)とも言うので。「祝甲華」の3文字でもいいかも！
再華	・コロナの緩和により、やっとお祭りらしくイベントの再開が出来るという意味と夏の花火、みんなの思いや願いがやっと花（華）が開くと言う意味合いを込めて再華（サイカ）という言葉を選びました。コロナ禍を超えて、再びみんなの笑顔や感動の溢れる四日市まつりが開催される事願っております。
再華煌	・コロナウイルスの影響で二年間の中止を経て昨年に再始動し、今年からは制限のないこれまで通りに近い生活ができるようになってきました。第60回の開催ということで再（祭）華煌というキャッチコピーを考えてみました。このキャッチコピーには、60年間の祭の成長と歴史の煌めきをたたえ60年という祭の特別な節目の華やかさ、祭りの躍動感や活気に満ちた雰囲気という意味や、今年で第60回の節目となる大四日市まつりを通して四日市が、四日市まつりがコロナ禍を乗り越え再び活気に満ち新たなスタートを切れるようにという意味を込めました。
再会	・祭りを通じて毎年会っていた人と、再会を分かち合いたい
再輝道	・中止を乗り越えて（再起動して）2度目のお祭り。みんなが歩くあのお祭り道が、以前と同じように賑わい、輝く笑顔で溢れてほしいという思いを込めました。
再興	・新型コロナの第五類移行によって、もう一度賑わいある四日市になるように。
再生	・コロナも5類に下がり、もう一度、コロナ前以上の四日市に再生する！
再発見	・大四日市まつりを、四日市市民としてもう一度新たな発見をし、全国や世界に届けよう。
最活気	・四日市愛に溢れ、勢いがありこの先もいきいきとみんなで最高に盛り上がり行こう！という気持ちを込めました。

ずばり！ 今年のキャッチ コピーは？	キャッチコピーに込めた想い
最高潮	・大四日市まつりは一年の四日市内の行事中で大イベントで出演者と観客が一体となって大盛り上がりし皆の気持ちが最高潮になるから。夏の大四日市まつりは暑さも最高潮だから！
祭縁	・コロナ空けのお祭りで新たな縁も深めることから。『さいえん』祭→再。縁→円、宴などにも掛けて
祭会	・ここに来たら祭りに会える？ コロナ禍を経て令和4年から再開【さいかい】しばらく会ってなかった人とも会える再会【さいかい】にかけて祭会【さいかい】にしました。
祭楽演	・色々な工夫を凝らした山車が見れる 祭り好きには堪らない楽園だから！
祭還暦	・私も大四日市祭と同じ年齢の60才、還暦を迎えます。今までに感謝、これからも還暦の願いを込めて！
祭喜	・コロナ禍も収まりつつある中、再びお祭りが盛大にできる喜びと60回の佳節を迎えるにあたり、コロナ禍で苦しみながらも頑張ってきた方々のここからの再起も祈念したいです。
祭響	・祭響（さいきょう） 1. 祭りの響き：祭りの喧騒や盛り上がり、賑やかな雰囲気や祭りの響きをイメージさせます。 2. 音楽の調べ：「響（きょう）」という漢字は、音楽の響きや調べを表現する言葉であり、まつり音楽や太鼓の響きが、人々の心を揺さぶることをイメージしました。 4. 鮮烈な響き：最強（さいきょう）という同音の言葉から、響きが強く印象的なことをイメージしました。大四日市まつりが多彩なイベントやパフォーマンスを通じて、人々に鮮烈な体験となることを想像しました。 以上
祭再会	・コロナ禍で中止になっていたお祭りの再開と、友達と集まれなかった期間がようやく終わり久しぶりに再会できる夏になることを願って。
祭発見	・四日市の良さを祭りを通じて再(祭)発見してほしいから。
祭来	・コロナも随分落ち着き、日常を取り戻しつつあるという意味を込めて「再来」という言葉を選び、大四日市祭りによって四日市が大きく盛り上がるこの時期がやってきたことを喜ぶ気持ちを込めて「再」に「祭」の漢字を当てました。
山海蒼	・西には鈴鹿山脈、東には伊勢湾。美しい青々とした自然が魅力的な四日市市。いつまでもこの自然を誇りとし、大切にしていきたいから。
四華	・よかババなどの名前から四華（よか）を思いつきました。四日市の四と、四日市が華やかになっていく想いを込めました。
四楽	・歌って楽しく 笑って楽しく 踊って楽しく みんなで楽しく！ 四日市の「四」4つの楽しいこと！ コロナ中で我慢してた3年間でした、今年の祭は特別だと感じています、
四還祭	・四日市まつりも60回(還暦)を迎えるので この募集を見た時に瞬時に思い付きました。
四笑祭	・コロナ禍を四日市市民が乗り越えて、笑顔?あふれる祭りになって貰いたいと言う思いを込めました！
四熱祭	・伝統ある四日市祭りが熱いものだから
四民祭	・四日市 市民 の 祭り。四日市に生まれてよかった という想い。
四翔	・四日市がより一層はばたく様に 願いを込めて
集大成	・60回目ということで、これまで築いてきたお祭りの歴史の集大成になるのではないかと思います。
瞬間	・今、この瞬間が、人生の1コマになる。いつか過去を振り返った時、思い出の1コマとして、この瞬間を見つけ微笑んでほしい。
彰嘉瑞	・「彰嘉瑞」は「かずいをあらわす」と読みます。「嘉瑞」は「おめでたい物事」を示し、めでたい物事が起こる予兆という意味があります。60回目の四日市のお祭り(物事)を出店者・来場者ともにいい行事にしていこうという希望を込めてこの言葉を応募しました。
笑咲	・コロナ禍で笑顔がなかった時期 マスク生活で笑顔が見れなかった時期があったので、みんな笑顔で夏祭りを楽しみたいから 笑顔を咲かすために

ずばり！ 今年のキャッチ コピーは？	キャッチコピーに込めた想い
笑全開	・コロナ禍のなか、マスクや黙食が推奨されて笑顔もなかなか見られなかった3年間でした。やっと笑顔や笑い声が全開できる！の気持ちを込めました。
笑待夢	・コロナ禍を乗り越えて、市民の皆さんの笑顔と夢がまつた祭りになってほしいから Show timeにかけて
笑乱舞	・"心躍る"も考えたのですが、漢字ということで、笑乱舞？で。大四日市祭りの過去の様子を思い浮かべると、皆さん、汗だくになりながらもとびっきりの笑顔で楽しく、躍動的に踊っている姿が思い出されました。今年の夏はマスクを外して、参加者も見ている人もスタッフも、皆がとびっきりのステキな笑顔で、祭りを楽しみことを想像して、考えました。
上飛光	・四日市まつりが、これからも光に向かって飛び続ける!!
情熱市	・四日市市が、世界中の人々から熱い優しさを感じられる街でありますように。
心躍	・心躍（こころおどる）大四日市まつり！ 理由…心が躍るようにワクワクする 四日市祭りのメインである踊りもかけて
新境地	・今までとは異なる新しい世界や分野、環境で活躍できる四日市人を生み出すきっかけとなる場所・機会になって欲しいから。
森 盛	・森市長に、四日市を盛り上げてほしい為。
真骨頂	・この大四日市祭で四日市の魅力、素晴らしさの真価に気付いて貰いたい。
真都里	・まつりと読みます 真…コロナが明けて、ようやく「本当の意味での祭り」が始まること、主催者の真心や真面目さ、参加者が自然体のまま過ごせるような祭りであってほしいとの思いを込めました 都…四日市が、三重県屈指の都市であること、祭りによって栄える街となってほしいとの思いを込めました 里…祭りで感じる郷土への想いや、皆が集まって楽しむ集落を表す漢字として選びました、
進化	・四日市駅前が大きく変わろうとしています。進化していく四日市への期待を込めて…。
進平和	・全世界が平和に向かって、進んで行く事を望んで。
水平線	・遥か彼方まで続くように感じる水平線の如く、祭りを通じて四日市市に拡がって欲しいため
世夏市	・夏に皆んなに知って欲しい市だから。
勢州宝	・せのくにの まほろば
盛郷祭	・新型コロナウイルス感染症が2類から5類になり、かつての日常生活が戻りつつある中、コロナ以前よりも故郷を盛り上げる祭になって欲しいから
盛祭	・四日市の街で盛り上がりつつ祭りを楽しもうという想いを込めた。
爽快	・今年はマスク緩和などで去年よりさらに熱く盛り上がりそうなので暑さを吹き飛ばすぐらい楽しみましょう！という想いを込めました。
続伝承	・60年という節目と長年受け継いできたものを誇らしく思うと共に、これからも未永く後世に引き継いでいくという意味
大縁会	・60回も続くのは人と人との縁だから、宴会をもじって縁会、大縁会としました。
大解放	・コロナからの大解放!!! 明るい未来へ!!!
大昇舞	・大きく舞って昇りつめ、はや60回、次の60回に向けて舞い続ける…という意。（大勝負＝だいしょうぶ 大四日市まつりで昇舞する）
第二幕	・コロナ禍も明けて、60周年(定年)を迎えて、新たな四日市(人生)のはじまり！
団暖弾	・久しぶりにみんなで集まって 熱く弾けよう
超大入	・人がたくさん来ると、大入道をもじって、おおいりとしました。
超入道	・大入道の首のように、高く高く。さらなる高みを目指して発展してほしい願いをこめて

ずばり！ 今年のキャッチ コピーは？	キャッチコピーに込めた想い
伝楽	・人々が楽しみそして伝えていくものだと思ったから
伝統美	・昔から受け継がれてきた四日市祭りのからくり人形や衣装の文化財が、雅で美しいから
入魂	・コロナによる中止から復活し、二度目となる大四日市祭り。四日市市民が去年より一層精魂を傾け、より一層和気あいあいと楽しめる祭りとなるようにつけました。
入道魂	・歴史ある四日市市民の熱い想いを、大入道が空高く伸び上がる勢いにのせて。
入道祭	・大入道、子入道、大祭
熱炎	・ねつえん：燃え盛る炎のこと。60回目の開催ということで、大四日市まつりは「還暦」を迎えられるのだなと感じました。還暦は赤のイメージをもつので、情熱的な印象のあるこの熟語がちょうど今年の大四日市まつりに合うのではないかと考えたからです。
熱血魂	・大四日市まつりに参加したひとりひとりに、熱い情熱にあふれ、魂を揺さぶられるような刺激を受けてほしいから。
熱四盛	・熱く四日市を盛り上げよう
熱萌	・熱く燃え（萌）あがれ四日市！ 四日市のマンパワーで60回分の想いをのせて 新たな未来へ！
燃夏	・コロナ禍で燃っていた気持ち、それぞれの想いが、暑い熱い夏の日に一気に燃え上がり、天まで昇って これからの四日市を照らしてくれるように という燃える魂を表現いたしました。
飛越	・人々のつながりでコロナを飛び越えることができたから。
飛躍	・5月8日以降の新型コロナウイルス感染症の分類変更に伴い、これから徐々に社会経済活動が再開されると思われま。今年の大四日市まつりは、第60回という節目の年でありますので、例年以上の多くの方に参加してもらえ、楽しんでもらえる祭りになればと考えております。
舞夜	・60周年！コロナ禍で変化したこともあったけど、踊り子の皆様に美しく、楽しく、夜を舞い踊り祭りという文化を広げてほしい。
舞踊麗	・市役所前の踊りフェスタ、アピタ前で盆踊りが老若男女問わず楽しめるから
復活	・コロナからの復活
復況	・長い間苦しめられ心理的にも閉鎖状態だったコロナの期間もようやく終わりが見えてきた昨今です、ありきたりですが以前の様な活気溢れる祭りに早く戻って欲しいものです。
沸湧	・「ワクワク」と読みます。大四日市まつりは、人々の感情が高ぶる、人々の感動が生まれる、人々がワクワクするイベントだから。
変革	・第60回の開催を迎え、四日市市の歴史においても様々な事がありました。祭りという主旨は変わらないものの、時代は大きく変わっており、今後も多くの出来事があると思います。環境と共に人の意識も変わるといった新たな気持ちを持って、昨年の再始動からの本格的な始動に繋がりたいから。
密上等	・コロナ感染拡大防止のためにそれぞれがいろんな思いでいろんなことを頑張ってきて、やっと迎えたという気持ちから
猛入道	・猛暑の夏を四日市祭りで乗り切ろう！
夜華市	・祭りが盛り上がり、四日市が夜に華やかな市になってほしいと思い、四→夜に日→華に四日市の市をつけました。
躍進	・これからますます四日市が発展しますように！という熱い想いをこめたいから。
躍動。	・祭りの華やかな踊りや山車、太鼓などの元気な四日市まつりをイメージしていること。また、60周年以降も盛り上がる四日市であることの思いをこめて。
遊楽	・どの年代、人種でも子供から大人、年配の方まで気にせず、遊べて、コロナの影響で中止していたのを遊びまくりコロナでのストレスを楽しみ吹き飛ばそうという。中止してた分を取り戻し、より楽しんで 文化を全身で遊んで感じ、考えるために 遊楽という文字で、日々の疲れとかを 文字を思い出し、忘れて貰いたいから。

ずばり！ 今年のキャッチ コピーは？	キャッチコピーに込めた想い
揚々	・コロナ禍で大変な年月を過ごしてきて、少しずつ上向きになって、顔を上げて堂々と誇らしげに向かっていこう！という四日市の意気込みと希望を込めて。
踊歌!	・読み方は、ダンスイングです。踊って、歌って、ギラギラの太陽に負けないギラギラのお祭りにしましょう！
乱舞	・大四日市まつりを名実ともに有名にし、その大舞台で乱舞してみたい
礼賛。	・60周年を祝う気持ちと讃える心を込めて
六十紡	・今年で60回ということで、60年祭りをつくる人、楽しむ人など、色々な人がこの歴史を紡いできたからです。
六大祭	・六十周年の大四日市祭なので
禄重祭	・『60回』にかけて言葉あそびをしてみました。『禄』という字には、報酬などの意味があり、『皆に重ねて良いことがあるように』という思いを込めました。
洒曙	・コロナが明け、新しい四日市の夜明けげよ
洒風流	・洒水みなとの流れをくんだ 風情あるお祭りだから
洒踊絡	・読み方は「しようか」。四日市イメージさせる洒水の「洒」、踊りフェスタに関する「踊」、からくり山車の漢字「絡繰」から「絡」を抜粋。次代に向けて皆で何かを始める意味合いで「しようか」との思いも含めています。
煌祭	・まつりの明るさや華やかさを表現しています。
煌煌	・コロナも落ち着き、これからの四日市民の健康と、市の輝かしい未来をこのコピーに託しました。
翔鯨祭	・ショウゲイサイと読みます 四日市市まつりといえば鯨船 舞い上がる鯨 上翔する四日市市という意味を込めて また、大谷翔平くんも掛けてみました